

会議名:令和6年度 第1回 沼津市自転車活用推進協議会

開催日時:令和6年9月3日(火)10時00分~11時45分まで

開催場所:沼津市民文化センター 2階 大会議室

公開・非公開の別:公開

傍聴者数:0人

会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 議事 沼津市自転車活用推進計画における令和6年度の取組について【資料1】 4 その他 5 閉会
------	--

<出席者>

	氏名	所属	欠席・代理出席
1	小宮山 学	東海旅客鉄道(株)沼津駅 駅長	
2	井原 一泰	沼津バス協会 会長 富士急シティバス(株) 取締役社長	
3	鈴木 智善	静岡県タクシー協会 沼津・三島支部 支部長 平和タクシー(株) 代表取締役	
4	辛嶋 亨	国土交通省中部地方整備局 沼津河川国道事務所長	代理出席 廣野委員代理
5	石野 巧	静岡県沼津土木事務所 工事第一課長	代理出席 山崎委員代理
6	山内 貴雄	沼津警察署 交通課長	代理出席 半田委員代理
7	鈴木 美緒	東海大学 建築都市学部 土木工学科 准教授	
8	佐野 千代	沼津商工会議所 総務監理課長	欠席
9	石原 俊雄	特定非営利活動法人 沼津観光協会 事務局長	代理出席 藤原委員代理
10	小野 剣人	特定非営利活動法人 カケルバイク 理事長	
11	山本 茂雄	沼津市自治会交通安全会連合会 会長	
12	河本 秀昭	沼津市高校生自転車マナー向上委員会 責任者 加藤学園高等学校	
13	栗原 浩一	公募委員	欠席
14	本間 宏昌	公募委員	
15	椿 美邦	公募委員	

事務局:まちづくり政策課、建設デザイン政策課、生活安心課、ウィズスポーツ課

## ・主な意見等について

### 目標1について

- ・市内の交通事故は減少傾向にあるものの自転車事故に関しては横ばいである。沼津警察署では、独自に防犯対策・交通対策として自転車安全走行対策の取り組みを進めていくことになった。すぐにはいい影響が出るわけではないと思うが、引き続き沼津市と協力していきたい。
- ・自転車ネットワークにおいて利用者満足度を捉える時には、自転車利用者だけでなく、他の交通手段をとっている人からも意見をもらうといいと思う。
- ・学校の近くで自転車空間の整備をする際は、そういったものも活用しながら安全教育をするとよい。大人も子供が近くにいるとルールを守ろうとする人が多い。
- ・シェアサイクルの促進イベントについては、実施するタイミングにより、自転車を買おうかどうか迷っている人に選択肢を与えることができると思う。効果が出やすい時期を検討して実施して欲しい。
- ・高校生マナー向上の活動を行っているが、ルールを知っているのに守らない、という生徒もいる。交通事故において命が救われた例を用いて指導するなど、その内容についてはアップデートを図っていくとよい。

### 目標2について

- ・中心市街地まちづくり戦略との連携における駐輪場の設置については、今年度は実施しないとのことであるが、中心市街地のにぎわいづくりに取り組むときには、それだけではなくどうやってそこまで来るかも大事である。引き続き、この内容を協議するときには、自転車も含め、どうやって来るかも協議して欲しい。
- ・エコ通勤の呼びかけにあたり、「エコ通勤優良事業所」に是非沼津市としてもチャレンジして欲しい。沼津市に率先してチャレンジしてもらえると、市内事業所も挑戦してみようかな、ということで自転車通勤者の増加にもつながると思う。また、この取り組みにより、難しいとされる大人の安全教育についても一つの情報発信チャンネルにできるかもしれない。
- ・ジョルダンアプリへの沼津市モードの実装など、今年度から始める取り組みも多いと思うが周知が大事である。
- ・シェアサイクルの利用の際は自転車本体のみを貸し出しているが、シェアサイクルならヘルメットを着用しなくてもいい、という雰囲気にはしてはならない。盗難などの問題もあるが、実験的な取り組みをしたり、地元のヘビーユーザーに呼び掛けていくことも大事。

### 目標3・4について

- ・ツーリズムを考える時に、自転車だけでなくその他の公共交通機関も使えると、自転車利用に関してハードルが下がる。
- ・公共交通との連携については以前サイクルタクシーが運行されていたがあまり利用がなかったようである。また、サイクリストの利用がおおい海沿いの道はバスの本数も少なく、あまりそれを使おうとならない。
- ・作成しているサイクリングマップは、初めて沼津市を訪れる方などにおすすめのルートを紹介するのにとても重宝している。利用者からも好評をいただいております、アナログならではのよさがある。
- ・イベントで楽しい内容をやるのに合わせて、安全教育などを伝えるのもいいことだと思う。地図に交通安全のルールを記載するなどの例もある。施策はそれぞれ別だと思うが、掛け合わせて取り組むとスムーズにできることもある。

以上